交付運用報告書

Asset Management One

バランス物語
（30（安定型）／50（安定・成長型）／70（成長型））

追加型投信／内外／資産複合

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。
各ファンドは、主にマザーファンドを通じて国内株式・国内債券・外国株式・外国債券の４つのアセット（資産）に投資し、基本アロケーションのもと、個別資産毎にアクティブ運用を行い、合成インデックスをベンチマークとして超過収益を積み上げることを図ります。
当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2026年２月26日～2026年８月25日

第51期		決算日：2026年８月25日
第51期末（2026年８月25日）		
		バランス物語30（安定型）
基準価額		14,191円
純資産総額		1,288百万円
第51期	騰落率	△0.2%
	分配金合計	10円
		バランス物語50（安定・成長型）
基準価額		19,923円
純資産総額		1,142百万円
第51期	騰落率	2.2%
	分配金合計	20円
		バランス物語70（成長型）
基準価額		26,719円
純資産総額		722百万円
第51期	騰落率	4.5%
	分配金合計	30円

（注１）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
（注２）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**
（受付時間：営業日の午前９時から午後５時まで）

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

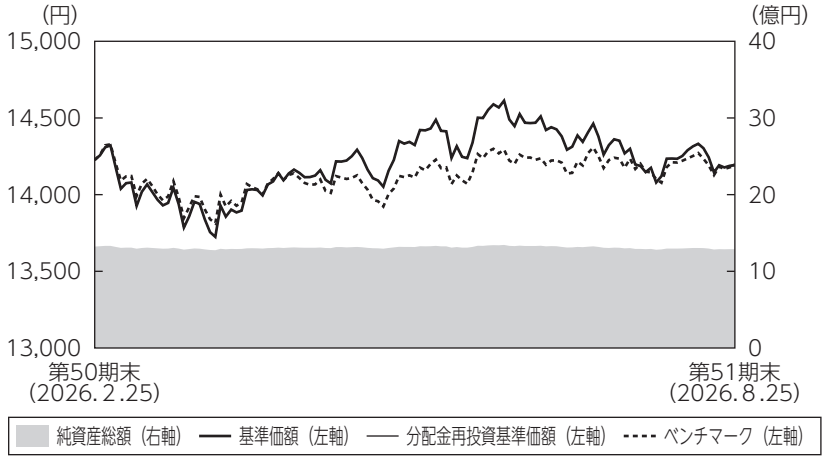
アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2　https://www.am-one.co.jp/

運用経過の説明

バランス物語30（安定型）

基準価額等の推移



第51期首：　14,226円
第51期末：　14,191円
（既払分配金10円）
騰 落 率：　△0.2%
（分配金再投資ベース）

（注1）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注2）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注3）分配金再投資基準価額およびベンチマーク（当社が独自に指数化する合成インデックス）は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の＜当ファンドのベンチマークについて＞をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

基準価額は小幅下落しました。日銀の金融政策正常化の進展や財政拡張に対する懸念などから国内の長期金利が上昇（価格は下落）したこと等がマイナスに寄与しました。一方、米国の景況感が底堅く推移したことや国内外の企業業績が良好であったこと等から国内外の株式市場が上昇したこと、為替市場で多くの通貨に対して円安となったことがプラス寄与し、基準価額は小幅下落しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ＤＬジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド	8.8%
ＤＬジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド	△2.9%
ＤＬインターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド	11.0%
ＤＬインターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド	0.6%

１万口当たりの費用明細

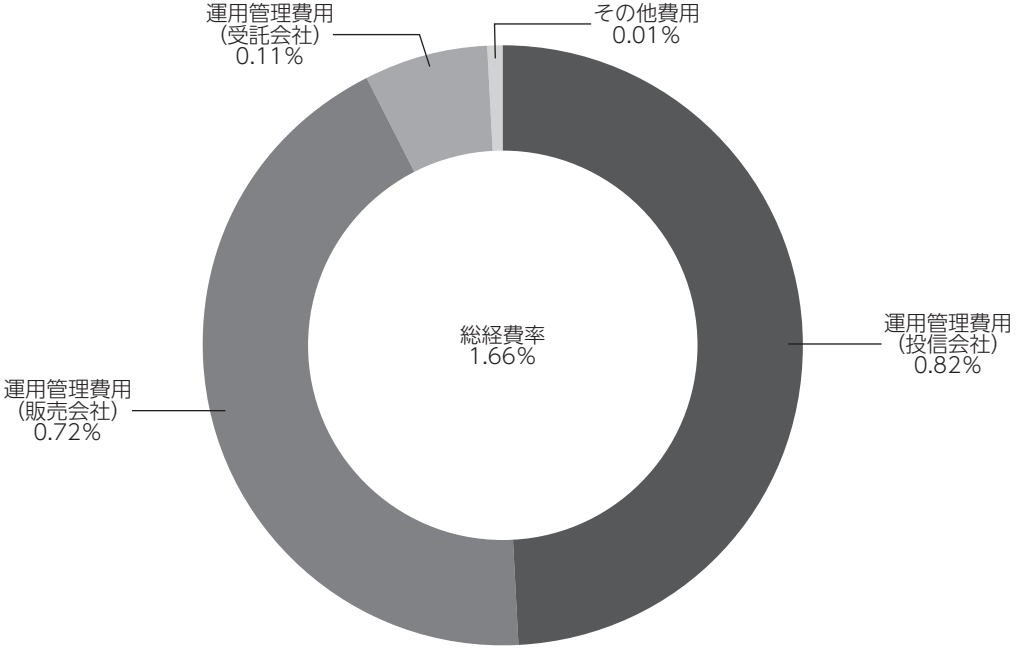
項目	第51期 (2026年２月26日 ～2026年８月25日)		項目の概要
	金額	比率	
(ａ) 信託報酬	116円	0.818%	(ａ) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は14,210円です。
(投信会社)	(58)	(0.409)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(50)	(0.355)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(8)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(ｂ) 売買委託手数料	1	0.010	(ｂ) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(1)	(0.010)	
(ｃ) 有価証券取引税	0	0.002	(ｃ) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.002)	
(ｄ) その他費用	1	0.005	(ｄ) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.003)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	119	0.835	

(注１) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
(注２) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注３) 比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

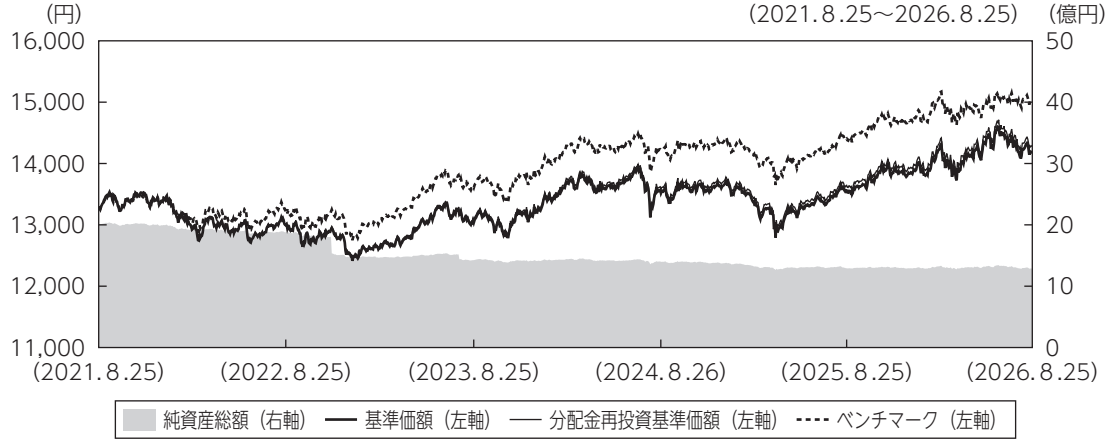
◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.66％です。



（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注3）各比率は、年率換算した値です。
（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近５年間の基準価額等の推移

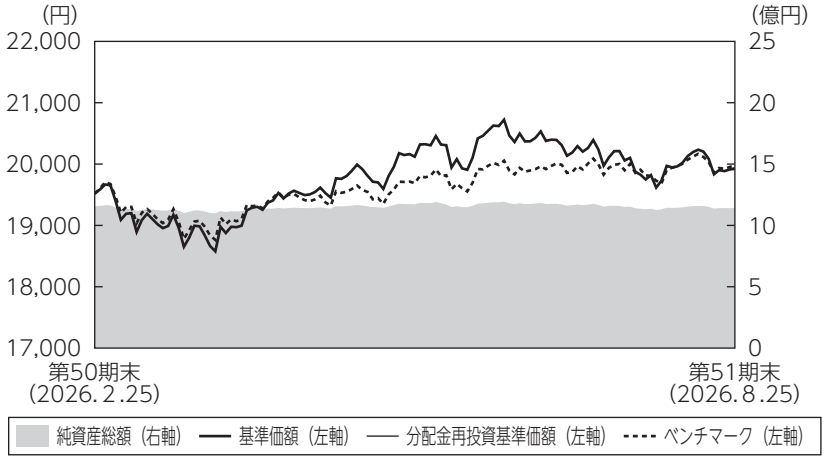


（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額およびベンチマーク（当社が独自に指数化する合成インデックス）は、2021年８月25日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2021年8月25日 期首	2022年8月25日 決算日	2023年8月25日 決算日	2024年8月26日 決算日	2025年8月25日 決算日	2026年8月25日 決算日
基準価額（分配落）　(円)	13,272	12,993	13,036	13,516	13,562	14,191
期間分配金合計（税引前）　(円)	－	20	20	20	20	20
分配金再投資基準価額の騰落率　(%)	－	△2.0	0.5	3.8	0.5	4.8
ベンチマークの騰落率　(%)	－	△0.2	2.7	4.5	1.3	4.3
純資産総額　(百万円)	2,006	1,877	1,422	1,397	1,292	1,288

バランス物語50（安定・成長型）

基準価額等の推移



第51期首：　19,516円
第51期末：　19,923円
（既払分配金20円）
騰　落　率：　2.2%
（分配金再投資ベース）

（注1）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注2）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注3）分配金再投資基準価額およびベンチマーク（当社が独自に指数化する合成インデックス）は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の<当ファンドのベンチマークについて>をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

基準価額は上昇しました。日銀の金融政策正常化の進展や財政拡張に対する懸念などから国内の長期金利が上昇（価格は下落）したこと等がマイナスに寄与しました。一方、米国の景況感が底堅く推移したことや国内外の企業業績が良好であったこと等から国内外の株式市場が上昇したこと、為替市場で多くの通貨に対して円安となったことがプラス寄与し、基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ＤＬジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド	8.8%
ＤＬジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド	△2.9%
ＤＬインターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド	11.0%
ＤＬインターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド	0.6%

１万口当たりの費用明細

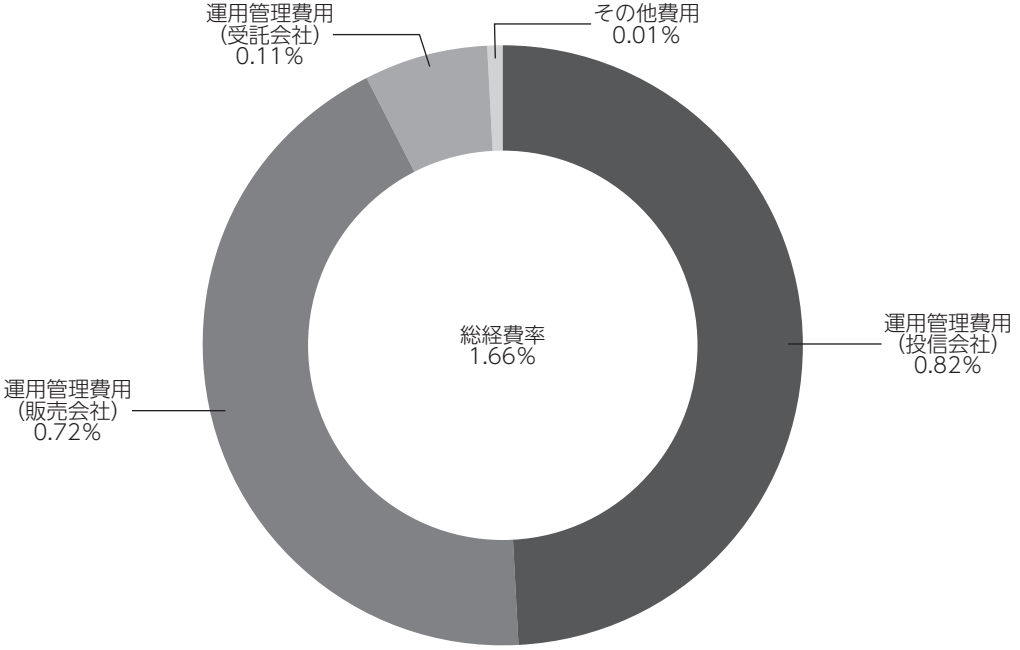
項目	第51期 (2026年２月26日 ～2026年８月25日)		項目の概要
	金額	比率	
(ａ) 信託報酬	162円	0.818%	(ａ) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は19,782円です。
(投信会社)	(81)	(0.409)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(70)	(0.355)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(11)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(ｂ) 売買委託手数料	4	0.019	(ｂ) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(4)	(0.019)	
(ｃ) 有価証券取引税	1	0.004	(ｃ) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(1)	(0.004)	
(ｄ) その他費用	1	0.006	(ｄ) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.004)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	168	0.848	

(注１) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
(注２) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注３) 比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

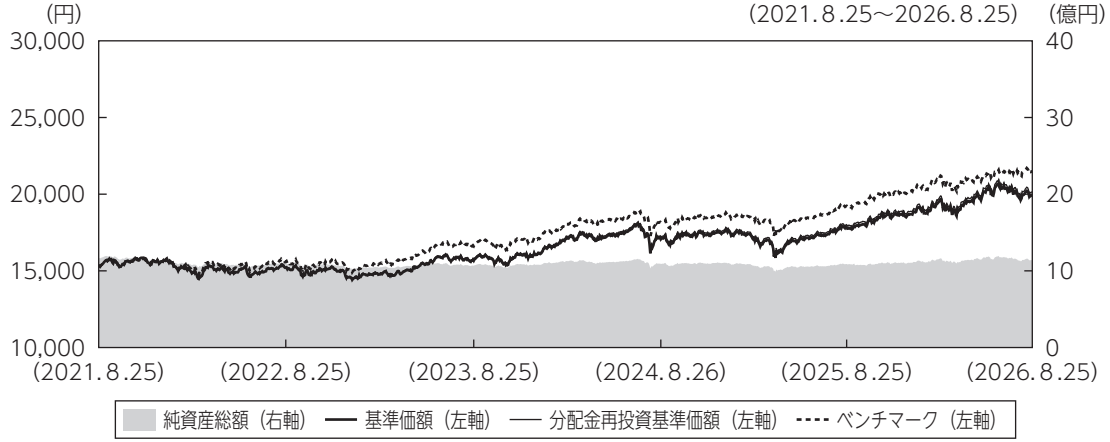
◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.66％です。



（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注3）各比率は、年率換算した値です。
（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近５年間の基準価額等の推移

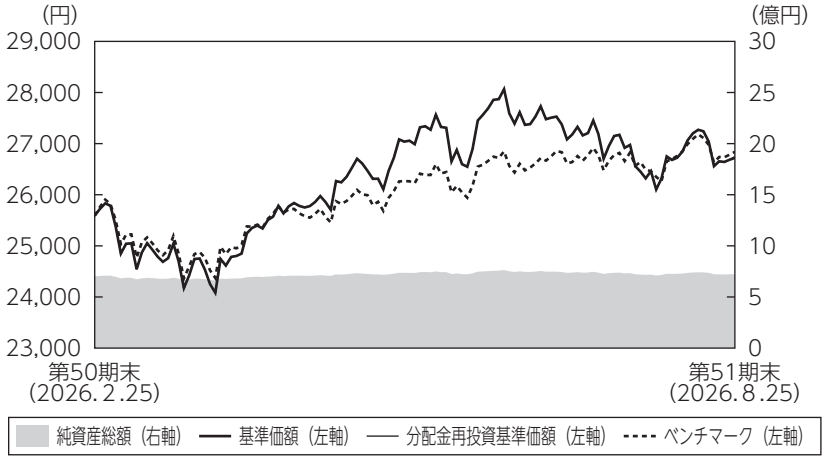


（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額およびベンチマーク（当社が独自に指数化する合成インデックス）は、2021年８月25日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2021年8月25日 期首	2022年8月25日 決算日	2023年8月25日 決算日	2024年8月26日 決算日	2025年8月25日 決算日	2026年8月25日 決算日
基準価額（分配落）　(円)	15,321	15,200	15,666	17,058	17,832	19,923
期間分配金合計（税引前）　(円)	－	40	40	40	40	40
分配金再投資基準価額の騰落率　(%)	－	△0.5	3.3	9.1	4.8	12.0
ベンチマークの騰落率　(%)	－	1.8	6.5	9.3	6.0	11.8
純資産総額　(百万円)	1,165	1,094	1,066	1,088	1,088	1,142

バランス物語70（成長型）

基準価額等の推移



第51期首：　25,590円
第51期末：　26,719円
（既払分配金30円）
騰 落 率：　　4.5%
（分配金再投資ベース）

（注1）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注2）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注3）分配金再投資基準価額およびベンチマーク（当社が独自に指数化する合成インデックス）は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の<当ファンドのベンチマークについて>をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

基準価額は上昇しました。日銀の金融政策正常化の進展や財政拡張に対する懸念などから国内の長期金利が上昇（価格は下落）したこと等がマイナスに寄与しました。一方、米国の景況感が底堅く推移したことや国内外の企業業績が良好であったこと等から国内外の株式市場が上昇したこと、為替市場で多くの通貨に対して円安となったことがプラス寄与し、基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ＤＬジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド	8.8%
ＤＬジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド	△2.9%
ＤＬインターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド	11.0%
ＤＬインターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド	0.6%

１万口当たりの費用明細

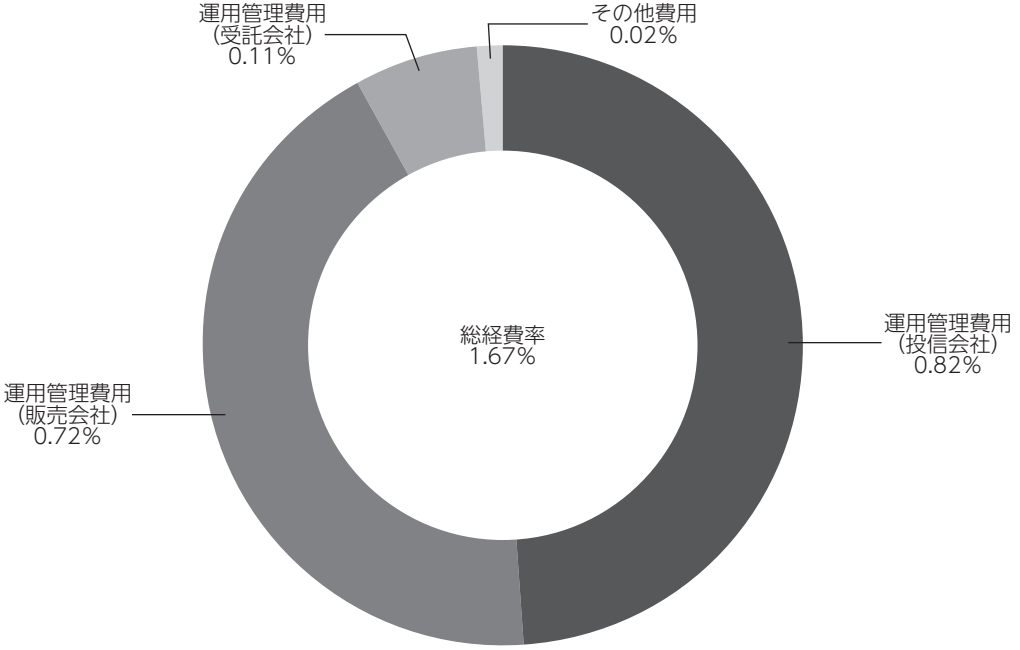
項目	第51期 (2026年２月26日 ～2026年８月25日)		項目の概要
	金額	比率	
(ａ) 信託報酬	215円	0.818%	(ａ) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は26,317円です。
(投信会社)	(108)	(0.409)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(93)	(0.355)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(14)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(ｂ) 売買委託手数料	8	0.029	(ｂ) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(8)	(0.029)	
(ｃ) 有価証券取引税	2	0.007	(ｃ) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(2)	(0.007)	
(ｄ) その他費用	2	0.008	(ｄ) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.006)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	227	0.862	

(注１) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
(注２) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注３) 比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

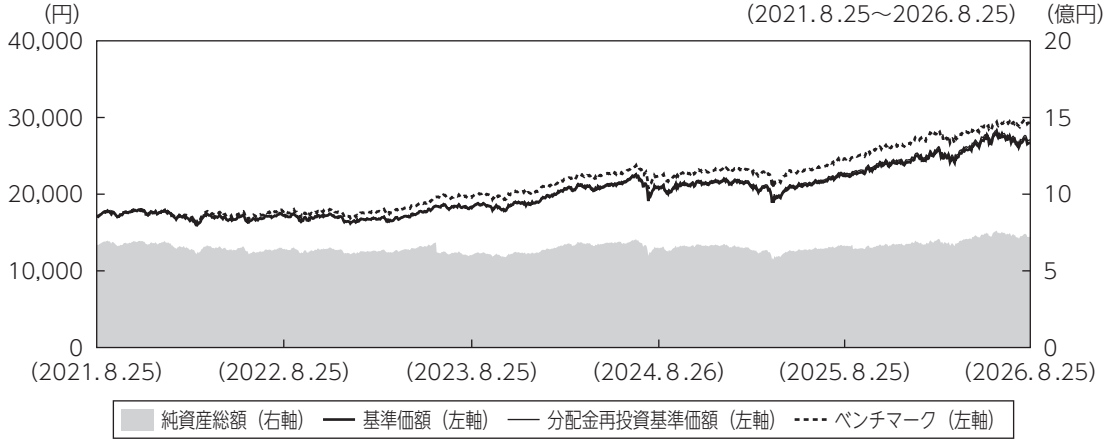
◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.67%です。



（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注3）各比率は、年率換算した値です。
（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近５年間の基準価額等の推移



（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額およびベンチマーク（当社が独自に指数化する合成インデックス）は、2021年８月25日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2021年8月25日 期首	2022年8月25日 決算日	2023年8月25日 決算日	2024年8月26日 決算日	2025年8月25日 決算日	2026年8月25日 決算日
基準価額（分配落）　(円)	17,132	17,231	18,200	20,700	22,498	26,719
期間分配金合計（税引前）　(円)	－	60	60	60	60	60
分配金再投資基準価額の騰落率　(%)	－	0.9	6.0	14.1	9.0	19.0
ベンチマークの騰落率　(%)	－	3.8	10.1	13.9	10.6	19.2
純資産総額　(百万円)	670	641	601	645	664	722

投資環境

国内株式市場は上昇しました。期初はホルムズ海峡封鎖懸念から原油価格が急騰し、株式市場はリスク回避の売り圧力が強まり急落スタートとなりました。しかしながらその後は、中東情勢の緊張緩和期待や堅調な企業業績などを支えに緩やかな戻り基調へと転じました。期末にかけてはＡＩ（人工知能）・半導体関連銘柄の不安定な値動きから伸び悩みとなりましたが、騰落率はプラスで終える結果となりました。

国内債券市場では、長期金利（10年国債利回り）は2026年３月以降、原油高や日米の利上げ観測を背景に上昇基調が続き、５月に2.6％台、６月は日本銀行が政策金利を1.0％へ引き上げたことから一時2.8％台に上昇しました。７月も高市政権の積極的な財政政策に対する警戒感が強まる中、８月は来年度予算の概算要求拡大と追加利上げ観測で2.9％台半ばまで上昇しました。

外国株式市場は上昇しました。期初は中東情勢の緊迫化を受けて弱含んで推移しましたが、地政学的リスクの後退やＡＩ関連銘柄への業績拡大期待などを背景に期中にかけては上昇しました。期末においては、中東情勢の再緊迫化、長期金利の上昇、ＡＩ設備投資の継続性に対する懸念などから一時的な調整局面はあったものの、全体としては好調なＡＩ関連銘柄の決算や底堅い米国の消費動向などを受け、株式市場は上昇基調を維持しました。

外国債券市場では、主要国の国債利回りは上昇（価格は下落）しました。中東情勢の緊迫化を背景にエネルギー価格が上昇してインフレ警戒感が高まると、各国中央銀行は金融引き締め的な姿勢を示したことから利回りは上昇しました。米国は期初には年内の利下げが債券市場で見込まれていましたが、年内の利上げ観測へ転換し、欧州はＥＣＢ（欧州中央銀行）が利上げを実施しました。

為替市場では主要通貨に対して円安の動きとなりました。米ドル／円相場は、内外金利差が縮小したものの、日銀が追加利上げに慎重な姿勢を継続したことや、本邦の財政拡張懸念などから円安米ドル高となりました。その他主要通貨においても、日銀の追加利上げに慎重な姿勢や本邦の財政拡張懸念などから円安現地通貨高の動きとなりました。

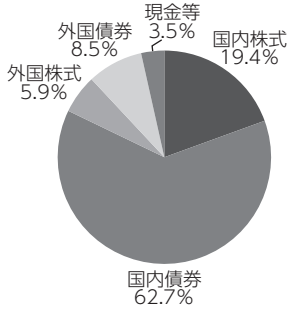
ポートフォリオについて

各ファンドでは、各マザーファンドへの投資比率が以下の基本アロケーションからそれぞれ±５％以内の範囲で配分比率を抑えるよう運用を行いました。

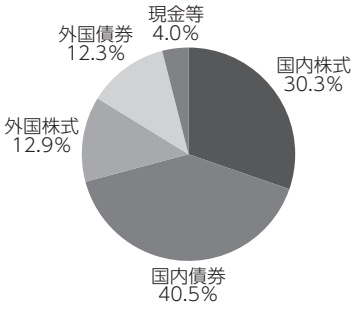
＜基本アロケーション＞
バランス物語30（安定型）：
国内株式：19%　国内債券：65%　外国株式：５%　外国債券：８%　短期金融資産：３%
バランス物語50（安定・成長型）：
国内株式：30%　国内債券：43%　外国株式：12%　外国債券：12%　短期金融資産：３%
バランス物語70（成長型）：
国内株式：40%　国内債券：22%　外国株式：19%　外国債券：16%　短期金融資産：３%

決算日（2026年８月25日）現在の組入比率

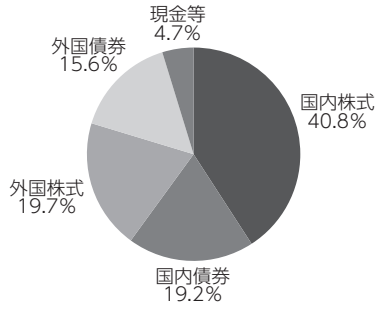
バランス物語30（安定型）



バランス物語50（安定・成長型）



バランス物語70（成長型）



（注）各資産の比率は、実質比率です。

●ＤＬジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド

各業界において競争力の優れた高成長銘柄やバリュエーション面で割安な銘柄など、個別銘柄の選別投資に注力しました。企業のファンダメンタルズ分析に加えて、短期的・中長期的な視点で株価への織り込み度合いを勘案し、より割安と判断される銘柄への入れ替えを継続的に行いました。その結果、電気機器、サービス業などの組入比率を引き上げた一方、非鉄金属、機械などの組入比率を引き下げました。

●ＤＬジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド

デュレーション戦略は、長期～20年ゾーンをアンダーウェイトとする短期化戦略を維持しました。イールドカーブ戦略は、10年や20年ゾーンに対して30年や40年ゾーンの平坦化を見込む戦略を維持しました。クレジット戦略は、良好な市場環境が継続する中、ファンドでは利回り収益に魅力的な事業債等をオーバーウェイトとする戦略を維持しました。

●ＤＬインターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド
　各国のマクロ経済分析等によるトップダウン・アプローチを活用しつつ、企業調査活動を基にしたボトムアップ・アプローチによるポートフォリオ構築を行いました。こうした中、業種別では素材セクターをアンダーウェイトに変更した一方で、ヘルスケアセクターをオーバーウェイトに変更しました。国別・地域別では、北米への投資比率を高位に維持しました。

●ＤＬインターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド
　銘柄選択では期初はベンチマーク対比でデュレーションを短期化していましたが、長期債利回りの上昇を受けて米国を中心とした長期化へ転換しました。国別の投資配分では、メキシコのオーバーウェイトや中国のアンダーウェイトを解消しました。通貨配分では、期の大半にてユーロ、カナダドルのアンダーウェイトを軸に機動的に調整しました。

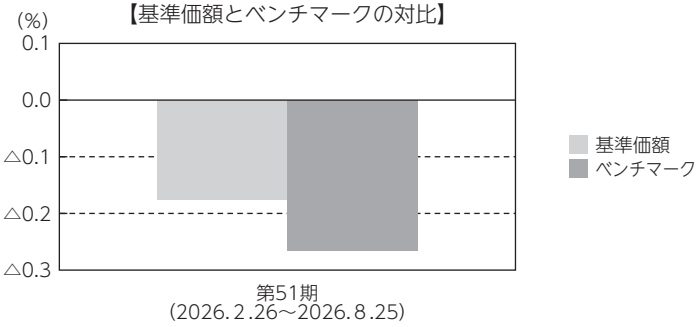
バランス物語30（安定型）

ベンチマークとの差異について

ベンチマークの騰落率は前期末比で0.3％下落しました。

当ファンドはベンチマークを0.1％上回りました。外国の株式がベンチマークを下回ったことや信託報酬がマイナス寄与した一方、個別資産要因で国内の株式と債券がベンチマークを上回ったことがプラス寄与しました。

【基準価額とベンチマークの対比】



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（１万口当たり）

項目	当期 2026年２月26日 ～2026年８月25日
当期分配金（税引前）	10円
対基準価額比率	0.07％
当期の収益	10円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	4,403円

（注１）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注２）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第３位を四捨五入しています。

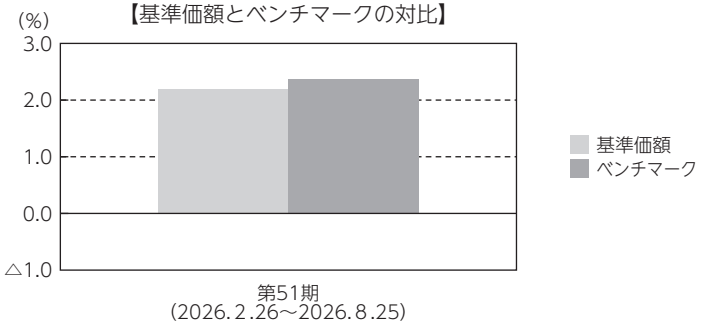
（注３）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

バランス物語50（安定・成長型）

ベンチマークとの差異について

ベンチマークの騰落率は前期末比で2.4%上昇しました。

当ファンドはベンチマークを0.2%下回りました。外国の株式がベンチマークを下回ったことや信託報酬がマイナス寄与した一方、個別資産要因で国内の株式と債券がベンチマークを上回ったことがプラス寄与しました。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期 2026年2月26日 ～2026年8月25日
当期分配金（税引前）	20円
対基準価額比率	0.10%
当期の収益	20円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	10,481円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

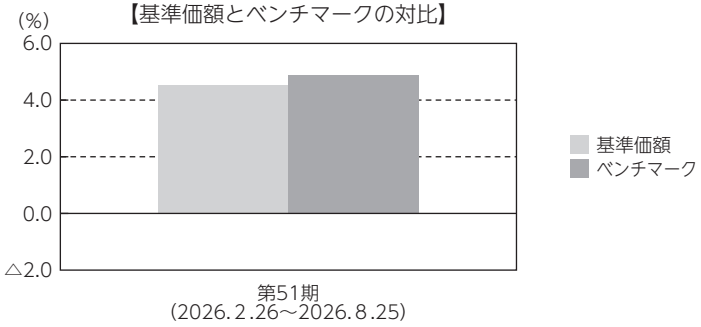
（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

バランス物語70（成長型）

ベンチマークとの差異について

ベンチマークの騰落率は前期末比で4.9%上昇しました。

当ファンドはベンチマークを0.4%下回りました。外国の株式がベンチマークを下回ったことや信託報酬がマイナス寄与した一方、個別資産要因で国内の株式と債券がベンチマークを上回ったことがプラス寄与しました。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期 2026年2月26日 ～2026年8月25日
当期分配金（税引前）	30円
対基準価額比率	0.11%
当期の収益	30円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	17,879円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

各ファンドのアセット・アロケーションは、基本アロケーションを基準としており、各資産の時価ウェイトが基本アロケーションから±５％の範囲内に収まるよう必要に応じてリバランスを行います。運用環境見通し等の大きな変更が信託財産の中長期的な成長に影響を及ぼす可能性が高いと判断した場合には、基本アロケーションの若干の見直しを行う場合があります。

●ＤＬジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド

堅調な企業業績や自民党政権による政策期待などを支えに、株式市場は底堅く推移すると想定しています。銘柄選択の視点では、引き続き競争力の強さ等から中期成長性の高い銘柄、足元の業績が市場予想を上回ると予想される銘柄、ＰＥＲ（株価収益率）等株価バリュエーションが割安な銘柄、株主還元に前向きな銘柄等に投資します。また、組入比率については、高位を維持する方針です。

●ＤＬジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド

中東情勢の不透明感が続く中でも、株式市場は高値圏で推移しています。日銀はインフレ圧力の高まりを受け、2026年９月にも利上げを実施する可能性があり、長期金利は上昇基調が続くと見込まれます。このため、デュレーション戦略は短期化を主軸に、市場環境に応じて機動的にコントロールしていきます。クレジット市場は、中東情勢や金利上昇の影響を注視しつつ割安銘柄を選別し、利回り収益の魅力度が高い短中期ゾーンのクレジット債をオーバーウェイトする方針です。

●ＤＬインターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド

外国株式市場は、インフレや金融政策を巡る不透明感、地政学的リスクの高まり、米国の中間選挙を巡る動向などから短期的には不安定な相場展開が想定され、ボトムアップリサーチに基づく銘柄選択とリスク分散の重要性が高まると考えます。運用方針としては、企業の詳細な調査を通じて魅力的な銘柄の選別に注力します。株式組入比率については、高位を維持する方針です。

●ＤＬインターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド

中東情勢の混迷長期化は各国の経済情勢、金融政策姿勢に先行き不透明感をもたらしており、不安定な値動きが続きやすい環境と考えます。銘柄選択については、長期債利回りのレンジ推移を想定してデュレーションリスク量の調整を行い、通貨選択については需給動向を勘案しながら機動的に戦略を構築する方針です。

お知らせ

約款変更のお知らせ

■各ファンドおよび各ファンドが投資対象とする「ＤＬジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド」、「ＤＬジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド」、「ＤＬインターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド」および「ＤＬインターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド」において、「一般社団法人投資信託協会」の名称変更に伴い、約款における記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更しました。

（2026年４月１日）

■各ファンドが投資対象とする「ＤＬジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド」において、新ＮＩＳＡ制度の成長投資枠の要件に沿った表記に改めるため、デリバティブの使用目的を明確化しました。

（2026年４月３日）

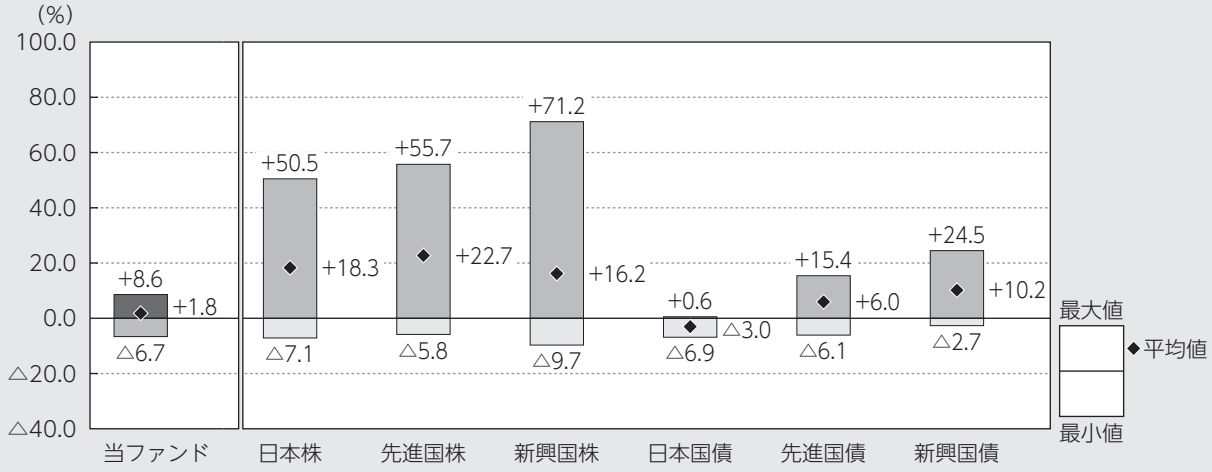
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2000年12月27日から無期限です。	
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として安定的な運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド※	以下の各マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	DLジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド	日本の株式（全上場銘柄）を主要投資対象とします。
	DLジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド	日本の公社債を主要投資対象とします。
	DLインターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド	日本を除く世界主要先進国の株式を主要投資対象とします。
	DLインターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド	日本を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	主としてマザーファンド受益証券への投資を通して、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券に分散投資を行い、リスクの低減に努めつつ中長期的に安定した収益の積み上げをめざします。 基本アロケーションのもと、個別資産毎におけるアクティブ運用を行い、委託会社が独自に指数化する合成インデックスをベンチマークとして超過収益を積み上げることを図ります。 各資産につき、基本アロケーションにおける各資産毎の比率から±５％以内の範囲で配分比率の変動を抑えます。 実質組入外貨建資産の為替リスクに対しては、原則として為替ヘッジを行いません。	
分配方針	決算日（原則として２月25日および８月25日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子、配当収入および売買益（評価益を含みます。）等の中から基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないことがあります。	

※ベビーファンドとは、バランス物語30（安定型）、バランス物語50（安定・成長型）、バランス物語70（成長型）です。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

バランス物語30（安定型）



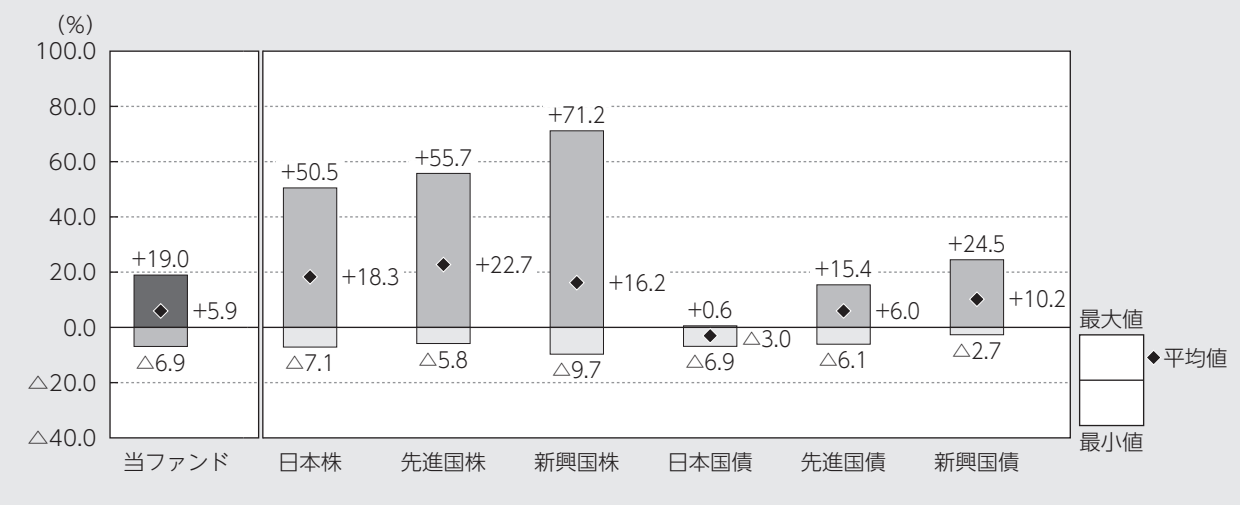
2021年８月～2026年７月

（注１）すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注２）上記期間の各月末における直近１年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注３）当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

＊各資産クラスの指数
日本株……東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）
先進国株…ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株…ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債…ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債
先進国債…ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債…ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド（円ベース）
（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

バランス物語50（安定・成長型）



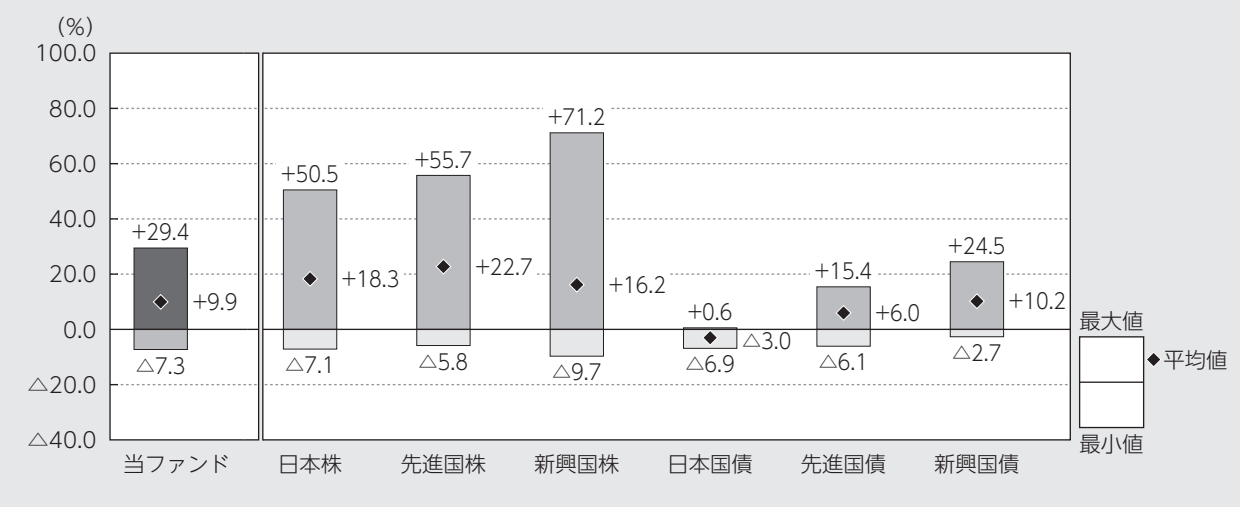
2021年８月～2026年７月

（注１）すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注２）上記期間の各月末における直近１年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注３）当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

＊各資産クラスの指数
日本株……東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）
先進国株…ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株…ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債…ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債
先進国債…ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債…ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド（円ベース）
（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

バランス物語70（成長型）



2021年８月～2026年７月

（注１）すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注２）上記期間の各月末における直近１年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注３）当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

＊各資産クラスの指数
日本株……東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）
先進国株…ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株…ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債…ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債
先進国債…ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債…ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド（円ベース）
（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2026年８月25日現在）

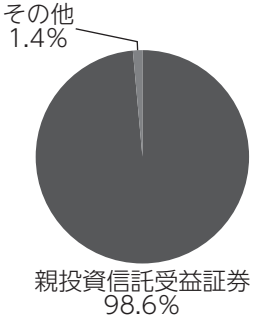
バランス物語30（安定型）

◆組入ファンド等　　（組入ファンド数：４ファンド）

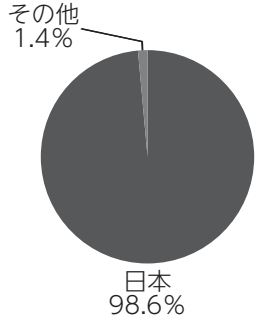
	当期末
	2026年８月25日
ＤＬジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド	64.4%
ＤＬジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド	19.7
ＤＬインターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド	8.6
ＤＬインターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド	5.9
その他	1.4

（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

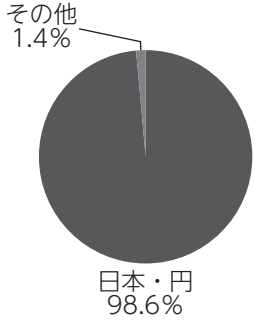
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）現金等はその他として表示しています。

純資産等

項目	当期末
	2026年８月25日
純資産総額	1,288,451,519円
受益権総口数	907,955,014口
1万口当たり基準価額	14,191円

（注）当期中における追加設定元本額は3,518,086円、同解約元本額は25,652,005円です。

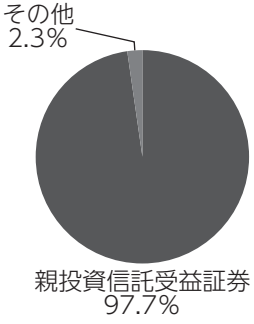
バランス物語50（安定・成長型）

◆組入ファンド等　　（組入ファンド数：４ファンド）

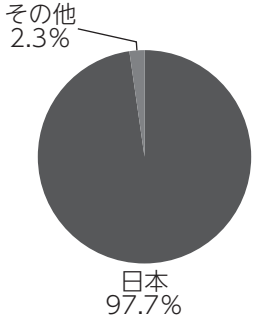
	当期末
	2026年８月25日
ＤＬジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド	41.6%
ＤＬジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド	30.7
ＤＬインターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド	13.0
ＤＬインターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド	12.4
その他	2.3

（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

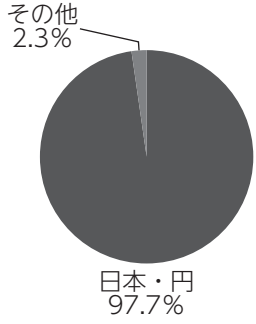
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）現金等はその他として表示しています。

純資産等

項目	当期末
	2026年８月25日
純資産総額	1,142,276,835円
受益権総口数	573,338,105口
1万口当たり基準価額	19,923円

（注）当期中における追加設定元本額は3,332,227円、同解約元本額は21,694,963円です。

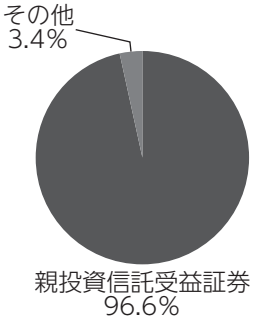
バランス物語70（成長型）

◆組入ファンド等　　（組入ファンド数：４ファンド）

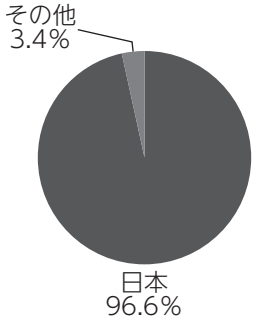
	当期末
	2026年８月25日
ＤＬジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド	41.4%
ＤＬインターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド	19.8
ＤＬジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド	19.7
ＤＬインターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド	15.8
その他	3.4

（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

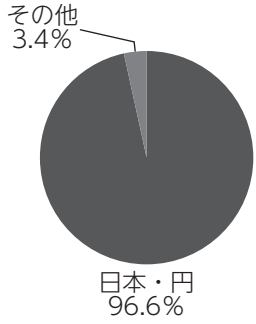
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注１）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）現金等はその他として表示しています。

純資産等

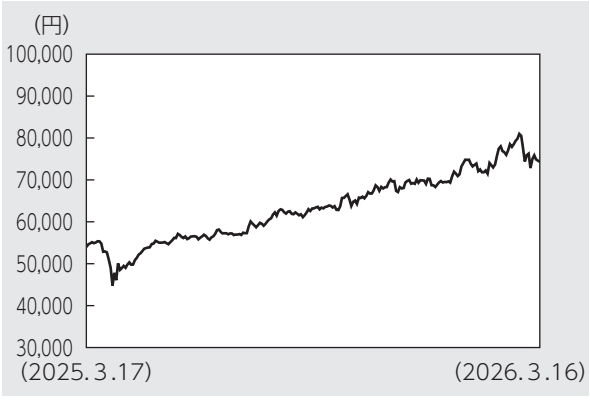
項目	当期末
	2026年８月25日
純資産総額	722,816,603円
受益権総口数	270,524,121口
1万口当たり基準価額	26,719円

（注）当期中における追加設定元本額は1,607,634円、同解約元本額は5,210,860円です。

組入ファンドの概要

[ＤＬジャパン・アクティブ・オープン・マザーファンド]（計算期間　2025年３月18日～2026年３月16日）

◆基準価額の推移



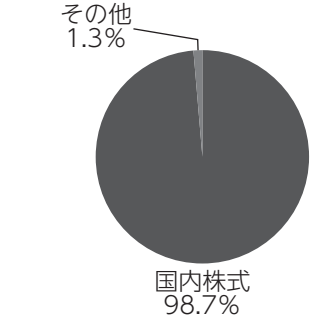
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ	日本・円	4.9%
住友電気工業	日本・円	4.3
トヨタ自動車	日本・円	3.9
三井住友フィナンシャルグループ	日本・円	3.8
信越化学工業	日本・円	3.3
日立製作所	日本・円	2.9
三菱重工業	日本・円	2.8
ソニーグループ	日本・円	2.8
東京海上ホールディングス	日本・円	2.6
東京エレクトロン	日本・円	2.1
組入銘柄数	81銘柄	

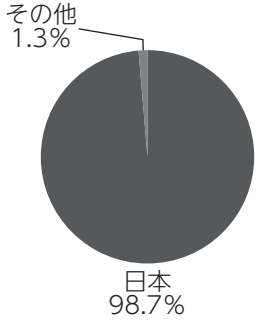
◆１万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	26円	0.041%
(株式)	(26)	(0.041)
合計	26	0.041
期中の平均基準価額は63,341円です。		

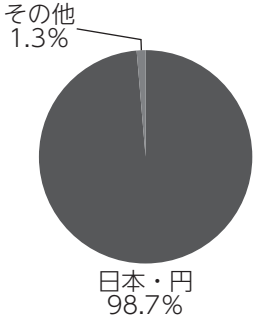
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分

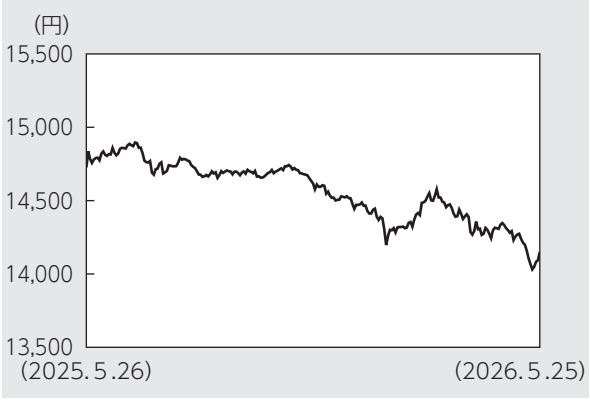


（注１）基準価額の推移、１万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。
（注２）「１万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
（注３）組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
（注４）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注５）現金等はその他として表示しています。
（注６）計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[ＤＬジャパン・ボンド・オープン・マザーファンド]

(計算期間　2025年５月27日～2026年５月25日)

◆基準価額の推移



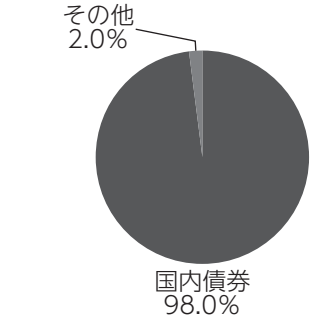
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
１３６６回　国庫短期証券	日本・円	3.7%
１７回　みずほフィナンシャルＧ　劣後社債	日本・円	2.2
2回　武田薬品工業期限前償還条項付劣後債	日本・円	2.2
２６回　物価連動国債（１０年）	日本・円	2.1
１３７７回　国庫短期証券	日本・円	2.0
８８回　利付国庫債券（３０年）	日本・円	2.0
１５回　三井住友ＦＧ永久劣後社債	日本・円	2.0
２７回　三菱ＵＦＪＦＧ永久劣後社債	日本・円	2.0
１３１９回　国庫短期証券	日本・円	1.8
１９５回　利付国庫債券（２０年）	日本・円	1.8
組入銘柄数	186銘柄	

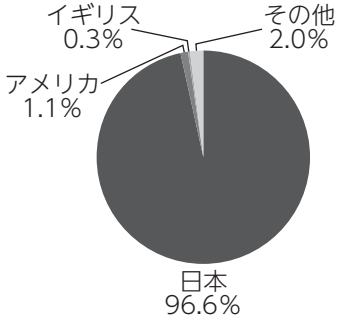
◆１万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000
期中の平均基準価額は14,560円です。		

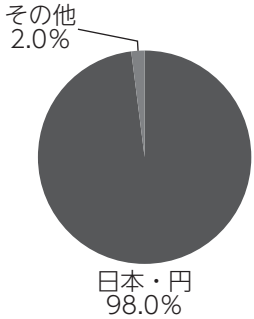
◆資産別配分



◆国別配分



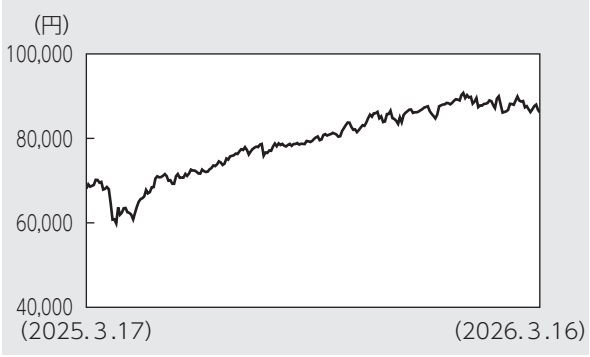
◆通貨別配分



（注１）基準価額の推移、１万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。
（注２）「１万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
（注３）組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
（注４）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注５）国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。
（注６）現金等はその他として表示しています。
（注７）計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[DLインターナショナル・ハイブリッド・オープン・マザーファンド]（計算期間　2025年3月18日～2026年3月16日）

◆基準価額の推移



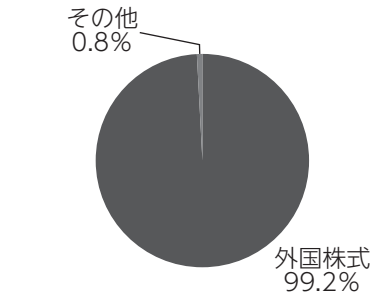
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
ALPHABET INC-CL A	アメリカ・ドル	6.3%
NVIDIA CORP	アメリカ・ドル	5.8
APPLE INC	アメリカ・ドル	4.8
BROADCOM INC	アメリカ・ドル	3.6
AMAZON.COM INC	アメリカ・ドル	2.9
LAM RESEARCH CORP	アメリカ・ドル	2.3
GOLDMAN SACHS GROUP INC	アメリカ・ドル	2.2
MORGAN STANLEY	アメリカ・ドル	2.2
CITIGROUP INC	アメリカ・ドル	2.2
TJX COMPANIES INC	アメリカ・ドル	2.1
組入銘柄数	72銘柄	

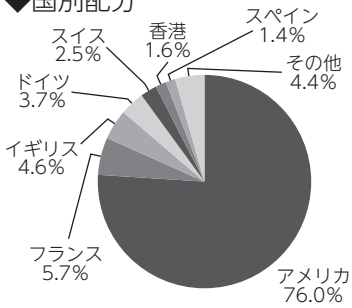
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	148円	0.187%
(株式)	(148)	(0.187)
(b) 有価証券取引税	44	0.055
(株式)	(44)	(0.055)
(c) その他費用	19	0.025
(保管費用)	(19)	(0.024)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	211	0.267
期中の平均基準価額は79,096円です。		

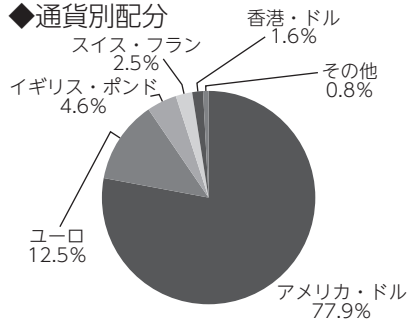
◆資産別配分



◆国別配分



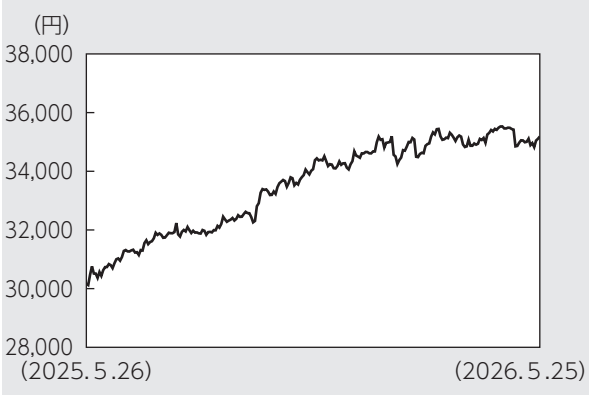
◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。
(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。
(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
(注7) 現金等はその他として表示しています。
(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[ＤＬインターナショナル・ボンド・オープン・マザーファンド]（計算期間　2025年５月27日～2026年５月25日）

◆基準価額の推移



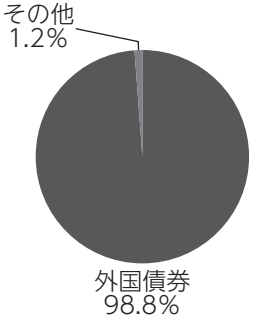
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
US T N/B 4.125 02/15/36	アメリカ・ドル	8.1%
US T N/B 2.375 05/15/29	アメリカ・ドル	6.3
CHINA GOVERNMENT BOND 2.12 06/25/31	オフショア・人民元	5.5
CHINA GOVERNMENT BOND 2.67 11/25/33	オフショア・人民元	4.6
US T N/B 4.125 11/15/32	アメリカ・ドル	4.5
US T N/B 4.5 11/15/54	アメリカ・ドル	4.4
UK TREASURY 4.75 10/22/35	イギリス・ポンド	4.0
US T N/B 3.375 11/30/27	アメリカ・ドル	2.6
US T N/B 3.0 11/15/44	アメリカ・ドル	2.4
SPAIN 3.3 04/30/36	ユーロ	2.4
組入銘柄数	63銘柄	

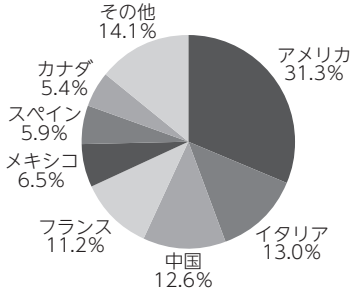
◆１万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用	12円	0.036%
(保管費用)	(11)	(0.033)
(その他)	(1)	(0.003)
合計	12	0.036
期中の平均基準価額は33,508円です。		

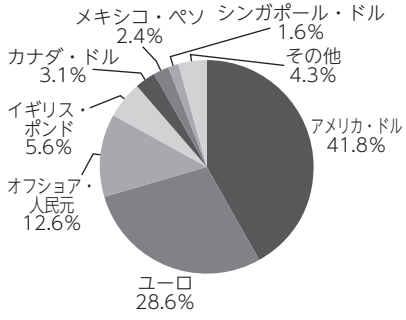
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注１）基準価額の推移、１万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。
（注２）「１万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
（注３）組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
（注４）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注５）国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。
（注６）通貨別配分は為替ヘッジ考慮前の割合です。為替ヘッジ考慮後の通貨別配分に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載されています。
（注７）上位８位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
（注８）現金等はその他として表示しています。
（注９）計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

＜当ファンドのベンチマークについて＞

●合成インデックスとは、国内株式については東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）、国内債券についてはＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ総合、外国株式についてはＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）、外国債券についてはＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）、短期金融資産についてはコール・ローンのオーバーナイト物レートを、各ファンドにおける基本アロケーションに基づいて合成したものです。基本アロケーションについては、前掲の「ポートフォリオについて」をご参照ください。

●東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有しています。ＪＰＸは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、ＪＰＸにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもＪＰＸは責任を負いません。

●ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ総合の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●ＭＳＣＩコクサイ・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●ＦＴＳＥ世界国債インデックスは、ＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣにより運営されている債券インデックスです。ＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、ＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣに帰属します。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

●「東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有しています。

●「ＭＳＣＩコクサイ・インデックス」は、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス」は、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）」は、ＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣの知的財産であり、指数に関するすべての権利はＦＴＳＥ　Ｆｉｘｅｄ　Ｉｎｃｏｍｅ　ＬＬＣが有しています。

●「ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド」は、Ｊ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はＪ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

（このページは白紙です）


Asset
Management
One